

## 景観形成チェックリスト

### 1. 基本的事項

(1/2)

項目	景観形成の基準	チェック欄	
共通事項	周辺地区における景観の特徴に調和させることを重視するとともに、地区の景観の特徴を伸張させる要素の導入や敷地内の緑化など、良好な景観の形成に寄与するよう努めること。	<input type="checkbox"/>	

### 2. 建築物の建築等、工作物の建設等

項目	景観形成の基準	チェック欄	
位置・規模	●道路・隣地間の距離を確保し敷地に対してゆとりある配置とすること。	<input type="checkbox"/>	
	●道路などの公共的空間からの眺望を確保するため、稜線の切断や背景との調和を乱すことのないよう位置及び規模に配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
	●一つの敷地に複数の建築物や工作物を設ける場合は、施設間の調和を図るとともに周辺の優れた景観と調和するよう配慮をすること。	<input type="checkbox"/>	
形態・意匠	●建築物等との連続性を考慮して、地域全体としての調和を図ること。	<input type="checkbox"/>	
	●山間部に立地する建築物等は、丘陵地、屋敷林、山並みを意識し、外壁に自然素材を使用するなど、周辺の景観や山からの眺望景観に配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
	●大規模な建築物の外壁は、圧迫感を感じさせないような色彩や素材を使用し、目地等による分節化を図ること。	<input type="checkbox"/>	
色彩	●法令に定めのある場合を除き、原色及び周辺環境から突出した色彩を用いないこと。	<input type="checkbox"/>	
	●基調色は、原色やけばけばしい色の使用をさげ、落ち着いたある色調、無彩色又は素材色を用いることとし、高明度・高彩度のものは使用しないこと。	<input type="checkbox"/>	
	●色数や色彩相互の調和及びバランスに配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
	●公共的空間からの眺望も含めて近景から遠景に至る様々な方向から見た場合の色彩の調和を総合的に検討し、最適な色を選定すること。	<input type="checkbox"/>	
敷地	●敷地内は、安全性を確保したうえで可能な限り植樹や生垣等による緑化に努めること。	<input type="checkbox"/>	
	●敷地内に優れた樹木がある場合は、保存又は移植するよう努めること。	<input type="checkbox"/>	
付属設備	●付属設備を設置する場合は、全体の美観を整えるため、配置や形態、色彩を工夫し本体との調和を図ること。	<input type="checkbox"/>	
	●駐車場や駐輪場は、生垣や緑化フェンスなどで目立たないよう工夫すること。	<input type="checkbox"/>	
	●ごみ置き場は、建築物の内部に組み込むか建築物と同一の素材の壁、生垣や緑化フェンスなどで遮蔽すること。	<input type="checkbox"/>	
	●防犯に必要な照明装置を除き、動植物の生態系などの自然環境への影響、省エネルギー化などの地球環境の保全に配慮し、適正な照明環境を形成すること。	<input type="checkbox"/>	

3. 土地の区画形質の変更を伴う開発行為

(2/2)

項目	景観形成の基準	チェック欄	
方法	●現況の区画形質を可能な限り活用し、長大な法面や擁壁が生じないように努めること。やむを得ない場合、法面は植栽等において緑化に努め、擁壁は周辺景観と調和する形態及び素材とすること。	<input type="checkbox"/>	
	●大規模な皆伐を避け、周辺の優れた景観を保全すること。	<input type="checkbox"/>	
その他	●敷地内に優れた樹木がある場合は、保存又は移植に努めること。	<input type="checkbox"/>	
	●周辺の植生と調和するよう植樹や植栽を行い修景緑化に努めること。	<input type="checkbox"/>	

4. 土石の採取又は鉱物の掘採

項目	景観形成の基準	チェック欄	
方法	●大規模な土石の採取又は鉱物の掘採を避け、適度に樹木等を残すように努め、周辺の優れた景観を保全するよう配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
その他	●敷地の周囲を植栽又は塀などで遮へい措置を講じるなど、周辺の優れた景観との調和に配慮した効果的なマスキングを行うこと。	<input type="checkbox"/>	
	●行為後、速やかに周辺の植生と調和した緑化等を行うこと。	<input type="checkbox"/>	

5. 屋外における物件等の集積・貯蔵

項目	景観形成の基準	チェック欄	
位置・規模	●公共的空間から容易に望見できない位置、規模とすること。	<input type="checkbox"/>	
方法	●高さを可能な限り抑えるとともに、整然とした物件のたい積を行うこと。	<input type="checkbox"/>	
その他	●敷地の周囲を植栽又は塀などで遮へい措置を講じるなど、周辺の優れた景観との調和に配慮した効果的なマスキングを行うこと。	<input type="checkbox"/>	

6. 景観形成に特に配慮した事項

--

(注1) 景観形成に配慮した項目のチェック欄の□にレ印及び内容を記入してください。

(注2) 景観計画重点区域は、追加のチェック項目があります。

7. 景観計画重点区域（追加項目）

①黒髪山周辺区域

(1) 建築物の建築等、工作物の建設等

項目	景観形成の基準	チェック欄	
規模・位置	●公共的空間から見る黒髪山の眺望を妨げないよう位置、規模及び高さに配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
高さ	●建築物の高さは、10メートル以下となるように努めること。	<input type="checkbox"/>	
形態・意匠	●稜線の切断や自然景観との調和を乱さないように努めること。	<input type="checkbox"/>	
色彩	●季節の移り変わりを考慮し、木材や石材などの自然素材と共通する色彩を基調とすること。	<input type="checkbox"/>	
付属設備	●防犯に必要な照明装置を除き、動植物の生態系などの自然環境の保全を阻害しないよう景観照明の抑制に努めること。	<input type="checkbox"/>	

(2) 土地の区画形質の変更を伴う開発行為

項目	景観形成の基準	チェック欄	
方法	●現況の区画形質を十分活用し、山の輪郭線等に大きな影響を与える掘削などは行わないこと。	<input type="checkbox"/>	
その他	●植樹や植栽など自然的な景観に向けた修景緑化に努めること。	<input type="checkbox"/>	

②武雄温泉保養村周辺区域

(1) 建築物の建築等、工作物の建設等

項目	景観形成の基準	チェック欄	
規模・位置	●やすらぎと広がりのある自然空間を確保するため、公共的空間から見るオープンスペースを妨げないよう位置、規模及び高さに配慮すること。	<input type="checkbox"/>	
高さ	●建築物の高さは、20メートル以下となるように努めること。	<input type="checkbox"/>	
形態・意匠	●稜線の切断や自然景観との調和を乱さないように努めること。	<input type="checkbox"/>	
色彩	●季節の移り変わりを考慮し、木材や石材などの自然素材と共通する色彩を基調とすること。	<input type="checkbox"/>	
付属設備	●防犯に必要な照明装置を除き、動植物の生態系などの自然環境の保全を阻害しないよう過剰な明るさの景観照明の抑制に努めること。	<input type="checkbox"/>	
	●温かみや落ち着きある光源を使用し夜間景観の演出効果が高い照明方法を工夫すること。	<input type="checkbox"/>	

(注) 景観形成に配慮した項目のチェック欄の□にレ印及び内容を記入してください。